

第26回 東京スポーツ映画大賞授賞式レポート

とよはしまちなかスロータウン映画祭
理事 松井香奈枝

日時：2017年2月27日 16:00～19:00

場所：高輪プリンスホテル

2月27日、ビートたけしが審査委員長を務める「第26回東京スポーツ映画大賞」および「第17回ビートたけしのエンターテインメント賞」の授賞式が、港区の東京プリンスホテルで行われた。

■第26回東京スポーツ映画大賞（※敬称略）

- ◇作品賞 「この世界の片隅に」
- ◇監督賞 庵野秀明・樋口真嗣（シン・ゴジラ）
- ◇主演男優賞 三浦友和（葛城事件）
- ◇主演女優賞 宮沢りえ（湯を沸かすほどの熱い愛）
- ◇助演男優賞 綾野剛（怒り）、菅田将暉（ディストラクション・ベイビーズほか）
- ◇助演女優賞 広瀬すず（怒り）
- ◇新人賞 杉咲花（湯を沸かすほどの熱い愛）
- ◇外国作品賞 「ハドソン川の奇跡」
- ◇特別功労賞 故神山繁さん

<審査に参加した全国10の映画祭>

あきる野映画祭、うえだ城下町映画祭、しまね映画祭、
周南「絆」映画祭、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭、
TAMA CINEMA FORUM、
とよはしまちなかスロータウン映画祭、
ながおか映画祭、ふかや映画祭、シネマ游人

■第17回ビートたけしのエンターテインメント賞（※敬称略）

- ◇男気賞 黒田博樹
- ◇特別賞 稀勢の里
- ◇話題賞 ピコ太郎、RADIO FISH、平野ノラ
- ◇激励賞 柴田英嗣、狩野英孝
- ◇努力賞 三遊亭円楽
- ◇カムバック&激励賞 ベッキー
- ◇日本芸能大賞 桂文珍
- ◇日本芸能特別賞 林家正蔵
- ◇日本芸能賞 ハリウッドザコシショウ、ライス、銀シャリ



司会：ガナルカナル・タカさん、江口ともみさん。

審査員の 10 団体の名前がスクリーンに映し出される。とよはしスロータウン映画祭もばっちり読み上げられてました！



ビートたけし審査委員長挨拶よりスタート。今回会場が高輪プリンスに変わったことなどを「クレームかな」と自虐しつつ、「地方の各映画祭に協力してもらっている正当な映画大賞」と紹介。毎回、審査員の映画団体にも触れてくれる。しかし最初から某宗教団体ネタを絡めてくるたけし審査委員長。さすがです。



外国作品賞は「ハドソン川の奇跡」。これだけの作品を 2 時間以内にドラスティックに表現したというのはすごい！と賞賛。クリントイーストウッド氏のコメントも読まれました。



新人賞は杉咲花さん。たけし審査委員長は「映画で見ると普通の子なのにここに立つと綺麗だなあ。やっぱ女優さんだな」とコメント。「湯を沸かすほどの熱い愛」での「宮沢りえさんは本当に血がつながっているんじゃないか、と思っています。りえさんがかあちゃんです！」と「親子」エピソードなどを話してくれました。



特別功労賞の故・神山繁氏の代役で中原丈雄さんが登壇。一緒に劇団を使ったりした時のエピソードなどを披露。たけし委員長は「アウトレイジ・ビヨンド」の時の神山さんのマイペースな「干しぶどう」に関するエピソード懐かしそうに語ってくれました。



助演女優賞は広瀬すずさん。「怒り」での渾身の演技が印象的だったとの評を受けての受賞。残念ながら欠席でしたが、ビデオメッセージで「怒りはオーディションを受けて挑んだ、本当に自分の中でもたたかひがあった作品。ありがとうございます。」とコメント。たけし委員長は登壇したマネージャーに対して「若い女優のマネージャーって大変でしょ？ バンドマンに手を付けられるし…」と毒舌ギャグ。



監督賞 庵野秀明さん・樋口真嗣さん（シン・ゴジラ）で樋口監督が表彰台に。「幸せを独り占めです」とコメント。「911や金正男暗殺みたいに現実のが映画よりあり得ないことが起こる時代の中で、もっと輪をかけて楽しませた見事な演出」政治家の意見などもでたほど「色々な話題がでるほど多くの人に見られた」と絶賛。その後は（撮影帰りだった）樋口監督の靴が汚いっ！と始終いじってました。



助演男優賞は、綾野剛さんと菅田将暉さん。綾野さんは「怒り」での繊細な役、菅田さんは「ディストラクションベイビーズ」他多彩な演技が評価されました。たけし委員長は「（高倉）健さんは、下手だけど存在感が抜群だった。けど今は俳優も漫才も、若い人で器用でうまいのがいっぱいいるから大変だ。」と2人を激励。



綾野さんは「怒りの役は妻夫木くんの存在が無かったらなり得なかった役でした。」「今回は弟みたいに思っている菅田さんとダブルで受賞できたことがうれしい。」とコメント。

菅田さんは「まだまだ、お芝居は年輪というか感情というか、よくわからないところもありますけど、大好きなこの仕事を続けて、さらに面白い作品を作っていけたらと思っています」とコメント。



作品賞は「この世界の片隅に」。当初は60スクリーンで上映だったのが、SNSなどで話題になり、300スクリーン上映の大ヒット映画となり受賞。たけし委員長も「最近じゃ勝てない、アニメには。圧倒的な差があるよね。自分も含め、役者も、監督も奮起していかなきゃいけない。自分の心が動画に投影できるような作品が増えてる。素晴らしい」と絶賛。



ここで一旦、映画大賞の授賞式が終わり、続いてはエンターテインメント賞の発表。毎度、スベる舞台として芸人さんの緊張を煽る中、ピコ太郎さん、ハリウッドザコシショウさん、ライスさん、銀シャリさんがネタを披露してくれました。

他にも日本芸能大賞桂文珍さん、日本芸能特別賞 林家正蔵さんも出席。落語家の方はとても所作がきれいでした。



そして、、昨年、スキャンダルで話題となった方々…狩野英孝さん、アンタッチャブル柴田英嗣さん、三遊亭円楽さんが欠席の中、ベッキーさんがまさかの出席。散々冒頭からたけし委員長に「バンドマンと…」などネタにされていましたが、ポジティブに登壇されました。





そして、いよいよ主演男優賞！

「葛城事件」三浦友和さん。

撮影中の北海道からかけつけてくれました。たけし委員長は「三浦さんはカッコいいだけの俳優じゃなくて、オレが『アウトレイジ』で汚れ役で使って悪いヤツをやるようになった。あれが力になっているよな」と自慢気。三浦さんは「おっしゃる通りです。呼んでいたのは3回目ですが、この授賞式は芸能人全体に対する愛情が深い。何がなんでも出なければいけないと思い、北海道から急いで駆けつけました」とコメント。



赤堀監督も登壇。たけし委員長から「(三浦さんに)緊張しなかったの?」と訪ねられると「撮影時は10分に1回くらい「三浦友和だ」と思いながらやっていました」「怖さや優しさなど多面性がある役者さんだと思います」とコメント。



そして、最後は主演女優賞、宮沢りえさんが登場!その日の舞台を終え、急いで駆けつけてくれました。

たけし委員長は「見事に女優として輝いている。もう、アイドル時代のことを知らない人も増えてきているんじゃないのかな。ここが頂点じゃなくて、まだまだ先を目指してほしい」と大絶賛。東スポ映画大賞では常連のりえさんですが、「この賞を頂くと、励みになります。歳をとって得るものを大事にしながら、未完成のままがんばりたいです。」とコメントし、締めくりました。

最後に、たけし審査委員長の総評。「なんで柴田と加納がこないんだ!」とした上で「ノミネートしてくれた映画祭の得票順に決めていて、愛情ある賞になってきてる。オレは監督としてだけじゃなく、役者としても世界に出ていくことがないわけじゃないんで、そこで権威を上げて、役者さんや芸人が東スポ映画大賞にノミネートされたり、受賞できることが夢になるように頑張りたいね。一回でも長く続けたいし、ますます面白い賞にしたい。」と希望のあふれる言葉で締めくくりました。

東京スポーツ新聞社の酒井社長の挨拶で閉会しました。



最後の集合写真。映画愛のあふれる第26回東京スポーツ映画大賞、
今回も楽しく拝見させていただきました！ありがとうございました。

おまけ



今年から東京支部の
五島さんと
出席しました！



会場風景



授賞式の常連
カメラマンさん



東スポ美女達が
お見送りしてくれます